

第4回「すまいスクール」事業選定委員会 議事要旨

平成27年度の「すまいスクール」タイアップ型事業の選定を行うため開催した第4回「すまいスクール」事業選定委員会（以下、委員会という。）の議事要旨は次のとおりです。

1 開催概要

日 時 : 平成27年7月31日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所 : アーバネックス御池ビル 西館4階 消費生活総合センター研修室
出席者 : 6名（委員全員出席）
委員 長 高田 光雄
副委員 長 山本 壯太
委 員 西光 正至
委 員 玉村 匡
委 員 秦 めぐみ
委 員 岡田 圭司

2 議 事

(1) 議 題

平成27年度「すまいスクール」タイアップ型事業の選定について

(2) 選定の方法

京都市住宅マスタープランの柱に掲げられている「住み継ぐ」、「そなえる」、「支え合う」の3つのキーワードに加えて、様々な今日的な課題も踏まえながら、多様な世代のすまい手にとって、身近な視点から愛着を持って住まうことが出来るすまいやまちの形成を考え、そして実践に移してもらえるような事業となっているかについて審議を行った。

選定は、「有用性」、「独自性・創意工夫」、「積極性」、「発展性」、「妥当性」の5つのポイントを踏まえて総合的に評価を行った。「企画テーマの分野」、「募集対象（子ども向け）」については「有用性」から重複しないように「独自性・創意工夫」、「妥当性」を考慮して事業を絞り込みながら、「積極性」、「発展性」から団体設立から日が浅くとも、若手を中心としたメンバーで精力的な活動を展開しているものについては高く評価した。また、すまいに関する幅広いテーマで市民の様々なニーズにこたえるためにも「京都らしい居住文化」へ配慮し、事業実施にあたっての活動支援の必要性についても議論を行い、最終9事業をすまいスクールタイアップ型事業として選定した。

(3) 選定した9事業 ※団体名50音順

団体名	提案事業名
一般社団法人 京都府マンション管理士会	マンションで必要な防災対策の具体例と日常活動の必要性
一般社団法人 日本空き家管理協会	(仮) 誰も住まなくなったおうちのお手入れ方法を、動画でやさしく学ぶ
一般社団法人 長谷川歴史・文化交流の家	(仮称) 京都にのこる多様なすまいの形と技～農家住宅編～
一般社団法人 モノコミュ研究所	モノへの想いを考えた整理収納講座～空き家予備軍の家財整理のコツ～
学校法人 京都建築専門学校 協力：木粒会	挑戦してみよう！大工さんの伝統技術！ 釘を使わない柱の組み方
京都移住計画	(仮) 現代版職住一体な空き家活用体験記
特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構	小学生マンションドクター養成塾 ステージ1 マンションの秘密を探れ！
特定非営利活動法人 住宅長期保証支援センター	シロアリ、ダニ、南京虫等の害虫、ネズミ、イタチ、ハト等の小動物の被害 対策 (仮題) ～「住宅情報：いえかるて」保存・活用で早期発見、早期対策！～
特定非営利活動法人 もく(木)の会	木造住宅のリフォーム～心地よい空間で長くすみつけられるように～

4 選定総評

平成27年度「すまいスクール」タイアップ型事業の公募には19事業の応募があった。応募総数は昨年度(28事業)より減少したが、新規の応募が8事業あり、事業の公募を通じてすまいまちづくり分野の活動団体との新たな関係づくりにつながったと評価したい。

今年度から企画・提案書の提出前に京安心すまいセンターとの事前協議が必須であったことから、全体的に質の高い企画内容となっており、応募事業すべてに対し選定委員が積極的に評価する意見を述べられるなど、それぞれ甲乙つけがたく選定は困難なものとなった。

京都市住宅マスタープランの柱に掲げられている「住み継ぐ」「そなえる」「支え合う」の3つのキーワードの中では「住み継ぐ」をテーマとした提案が多くみられたが、結果として、住まいや住まい方に関する社会的なニーズや今日的課題を踏まえた事業企画が選定されたと考えている。